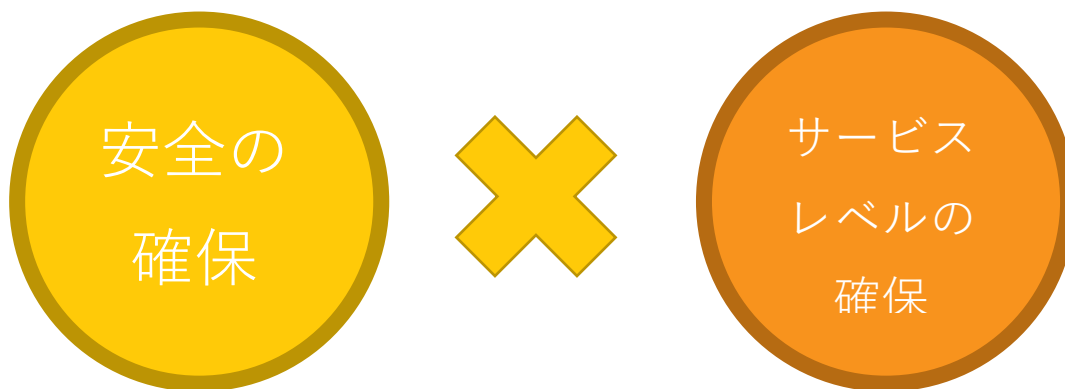


第4章 経営の基本方針

1. 経営理念

全国的な少子高齢化による人口減少と今後の施設の老朽化は避けられない問題となっていますが、本市は「住民の安全 と 安定した下水道サービスの供給」を推進してまいります。



① 安全の確保

現在、本市では下水道施設に起因する事故は発生しておりませんが、今後も継続的に市民の安全を確保するため、本管に起因する道路陥没やマンホール蓋に起因する事故を未然に防止してまいります。

② サービスレベルの確保

本市の下水道普及率は57.7%と整備が遅れているため、建設投資による下水道サービスの確保と合わせて、今後は既存のストックを適正に維持管理することで、下水道サービスの継続的な提供を行ってまいります。

点検・調査および修繕・改築に関する目標 (最終アウトカム)				施設種別別事業量の目標 (アウトプット)			
項目		目標値	達成期間	項目		目標値	達成期間
安全の確保	本管に起因する道路陥没の未然防止	道路陥没 0件/km/年	30年	管路施設	管路施設の点検	管渠点検 465 スパン/年 管渠調査 1.4 km/年	10年
				設備	マンホールポンプ点検 1回/年	10年	
サービスレベルの確保	安定的な下水道サービスの提供	健全度2以下の施設割合 管さよ 0.7%→0.0%	30年	管路施設	定期的な点検・調査による劣化の早期発見・早期対応	管渠点検 465 スパン/年 管渠調査 1.4 km/年 改築延長 0.3 km/年	10年
				設備			

(「大和高田市下水道ストックマネジメント基本計画」より)

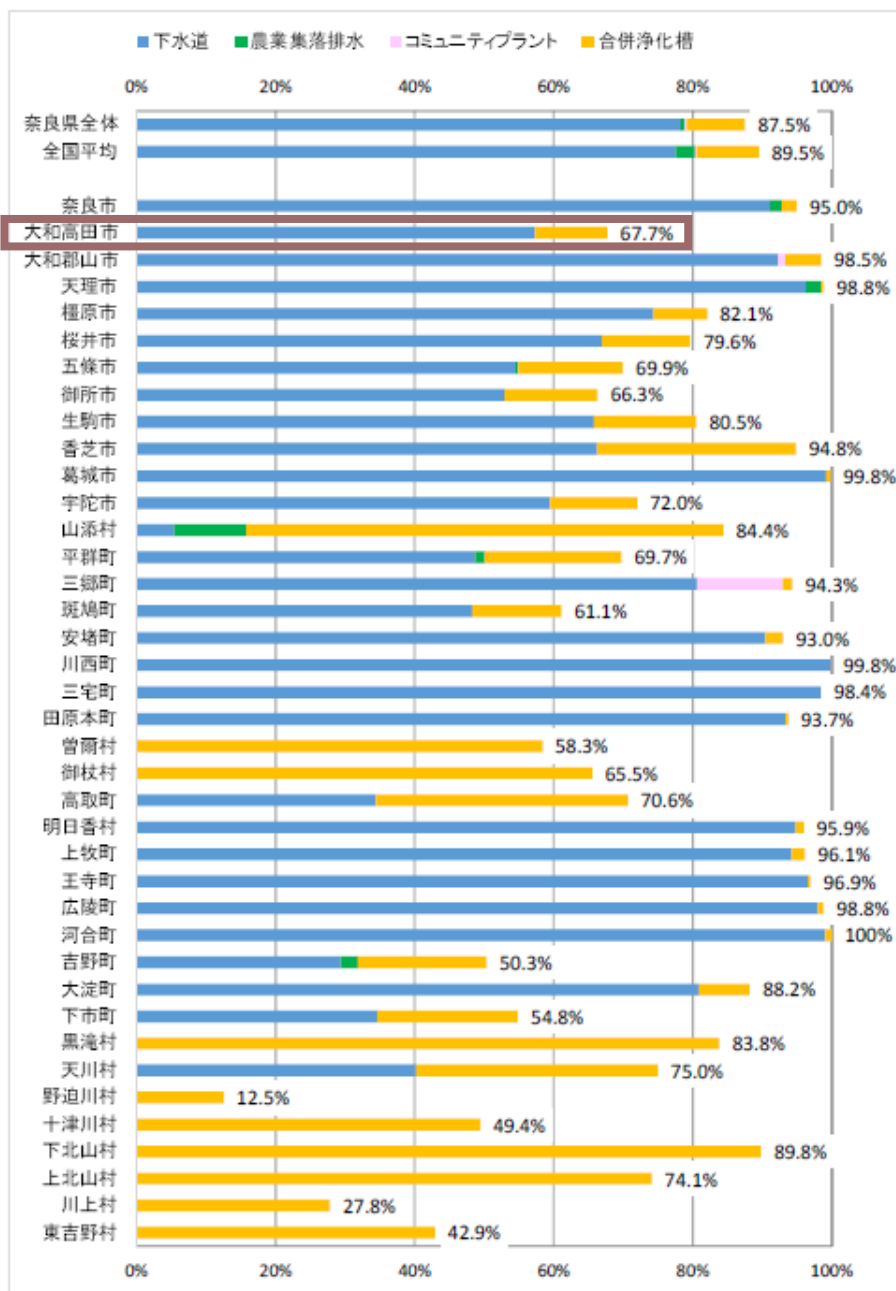
2. 基本方針

市民のみなさまが将来にわたり、下水道サービスを楽しんで頂けるよう、下水道の人口普及率・整備率・水洗化率の向上に取り組んでまいります。経営戦略策定期間の基本方針を以下の通りとします。

① 計画区域の整備率を令和8年までに80%

下水道事業につきましては、その整備の推進重点計画とも併せ、事業認可区域内の未普及区域の早期解消を目指し、低コスト技術の採用・導入等により、迅速に事業の推進を図り、整備率を引き上げてまいります。

【奈良県の汚水処理人口普及率】（平成26年度末時点）

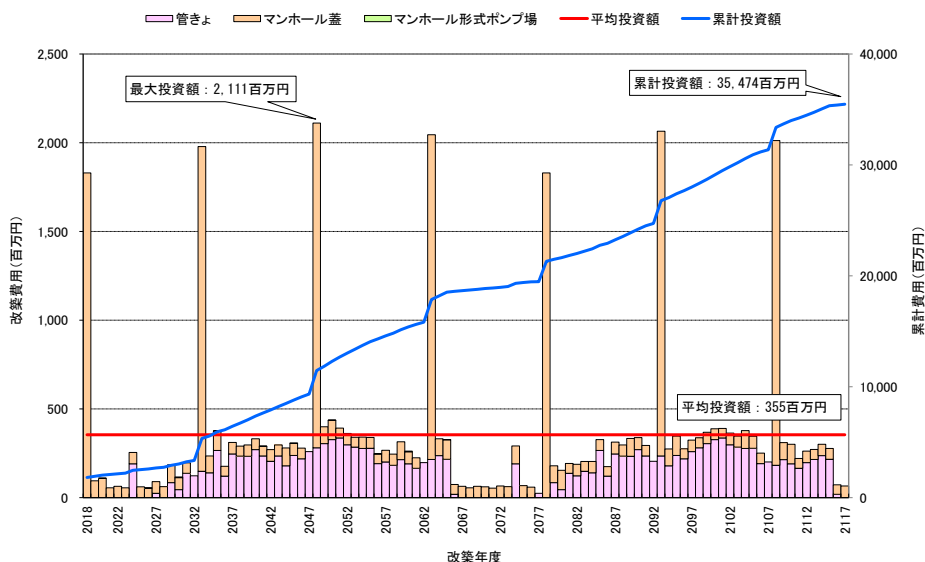


(引用：奈良県汚水処理構想)

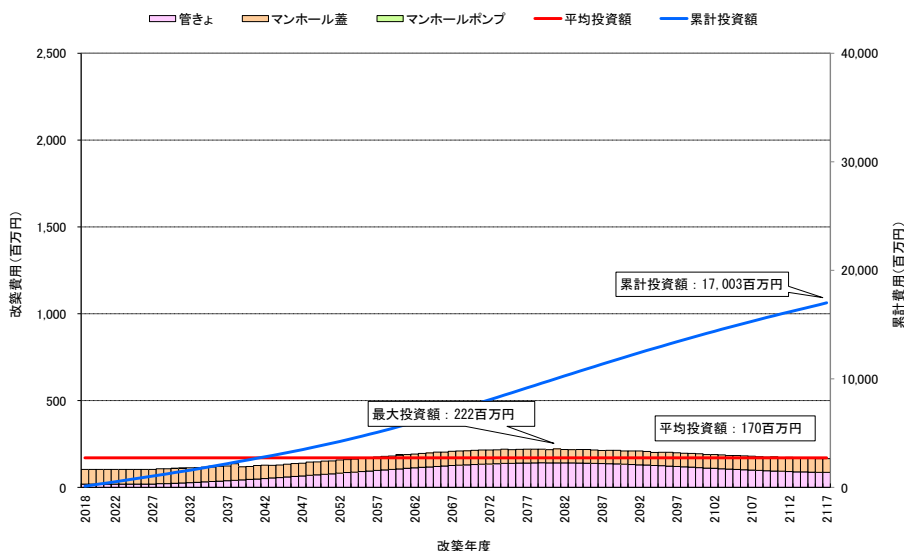
② スtockマネジメント計画に基づいた老朽化対策の実施

Stockマネジメント計画により、敷設から30年以上経過した管渠を調査し、改築更新計画を策定してまいります。

【標準耐用年数による単純改築費の推移】



【Stockマネジメント導入後の改築費の推移（採用シナリオ）】



単純改築の場合、今後100年間での改築投資額は、年最大で21億円となり、累計で355億円となる。Stockマネジメント導入後においては、今後100年間において、年最大で2億円となり、累計で170億円となる。したがって、Stockマネジメントの導入により今後100年間で185億円のコスト削減効果が期待できる。

（「大和高田市下水道Stockマネジメント基本計画」より）

上記のほか、経営状況や地域環境の変化などの必要に応じ、施策を実施してまいります。